

Q

老若男女が利用できる公園を

A

公園整備計画の中で検討する

高田 克彦 議員

質問一 鶴ヶ丘児童公園から遊具を撤去した理由と再設置の見通しについて。

二 上広谷地区の街区公園の設置について。

三 日化団地近くの高速度路下などの利用計画は。

四 街区公園に時計台、トイレ、防災機能の構想は。

五 公園への遊具などの設置の構

想と見通しは。
六 市民1人当たりの公園面積の拡大について。

答弁一(市長) 遊具の腐食の進行により危険な状態であったために撤去した。再設置については地元の意見を聴きながら検討する。

二 公園整備計画の中で検討する。

三 真ん中に排水溝があり、日照が入らず、また防犯上の心配もある



るので公園としての利用は難しい。

四 国からの地域の元氣臨時交付金を財源に整備を進めていく。

五 公園整備計画の中で十分に検討し方向付けをしていく。

六 現在、1人当たり、市全体では8平方メートル以上、このうち市街化区域内では4平方メートル以上である。

今後、必要に応じて見直しをする。

◎その他の質問

一 市民コメント制度は有効か

二 メガソーラー設置工事の問題点と次世代エネルギーの活用

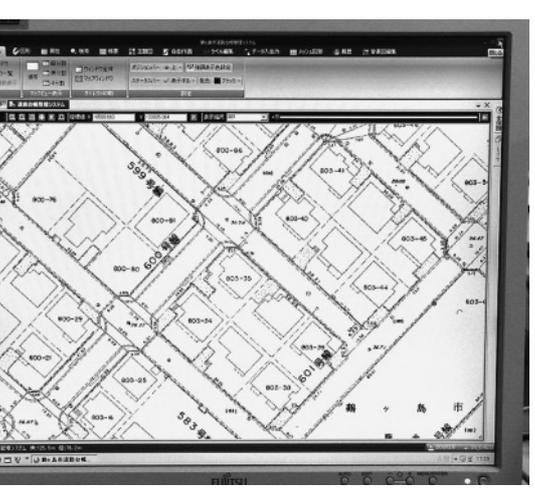
GISで縦割り行政に横串を

Q

活用を含めて研究を進める

A

山中 基充 議員



道路台帳管理システムの地図データ

GIS (geographic information system)・・・地理情報システム。コンピュータ上に地図情報やさまざまな付加情報を持たせ、作成、保存、利用及び管理をして、地理情報を参照できるように表示機能、検索機能をもったシステム。

質問一 統合型GIS導入の経緯と経費、現在の利用状況について。

二 統合型GISの活用について。

(ア) 他自治体の利用状況の研究は。

(イ) 市の活用の検討の状況と今後の取り組みは。

三 GIS活用における業者との契約状況とデータの2次利用可能な契約変更について。

四 全庁にまたがるプロジェクトチーム等による活用の検討は。

答弁一(市長) 平成14年に国土調査の成果を生かし、地図情報システムを構築した。現在は、土地利用現況図、位置指定道路の管理システム等の統合型GISとして活用している。

二 (ア) 24年4月1日現在、全国で718団体で導入済みである。

(イ) 有効活用に向け研究していく。

三 システム機器、ソフトウェアの保守管理契約及びリース契約を締結している。データの2次利用は基本的に可能である。

四 統合型GISの活用については横断的な対応が必要になる。オープンデータ化の取り組みと合わせて研究を進めていく。

◎その他の質問

一 市民後見人養成講座の実施と法人後見人事業の展開を

二 ドライブレコーダーの公用車への設置を